

とがしやかた ① 富樫館跡

本町二丁目・住吉町・扇が丘周辺

富樫館は、建武二年（1335）に加賀国守護に任じられた富樫高家^{たかいえ}が政務を司る守護所として構えた館です。館の年代は、出土遺物や文献から、室町時代から戦国時代（14世紀～16世紀）と考えられます。

平成六年（1994）の発掘調査では、館の周囲を巡っていた防御のための堀の一部を確認しました。堀の断面はV字型をしており、幅6～7m、深さ2.5mの規模で、堀の中からは生活道具である陶磁器類や鏡が出土しました。

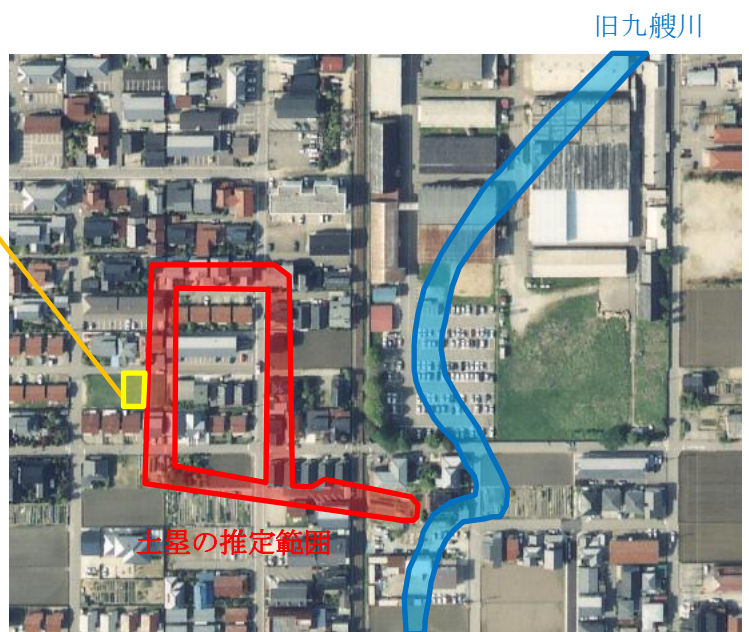
また、安政五年（1858）に描かれた絵図^{あんせい}などから、館の大きさは約160m四方規模であったと推定されます。



発掘調査時に発見された堀跡



現在は小公園で、堀跡を表示してあります



富樫館跡 土塁の推定範囲